

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

1 付託事件審査

(1) 請願第1号 函館の保育、子育て支援の拡充を求める請願

○委員長（池亀 睦子） それでは1の付託事件審査（1）函館の保育、子育て支援の拡充を求める請願を議題といたします。

本件につきましては、前回の委員会で紹介議員から請願の内容や理由について説明を受け、これを踏まえ、それぞれ会派に持ち帰り検討することを確認しておりましたので、各委員から御発言をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

（「各会派、順番に」の声あり）

○委員長（池亀 睦子） じゃあ、各会派から。

○金澤 浩幸委員 市政クラブですけども、皆さんの御意見もお聞きしたいなとは思ってるんですけども、うちはきょう、結論出してもいいかなとは思っております。ただ、前回、紹介議員の皆さんから説明を受けたので、あと市の体制だとか、そこら辺の考えを聞くのか聞かないのか、皆さんの意見に合わせて進めたいなとは思ってますけども、もし皆さんがよろしければ、きょう、マルバツははっきりしても、それはそれで構いませんが。

○委員長（池亀 睦子） はい、わかりました。

次に、民主・市民ネットさん。

○斉藤 佐知子委員 前回、紹介議員の方からお話聞いて、前にも話になったことがありますけれども、この保育料のことを、多分、市のほうも国よりも細分化をしていてとか、そういう表というか保育料もあるんだと思うんですね。ですから、そういう資料をいただいて、それでうちとしてはまた会派で検討し、きょうというんではないんですが、ぜひ次回には結論を出したいというふうに考えているところでございます。

○委員長（池亀 睦子） 保育料というのは、全国とか道内とかの保育料の状況でしょうか。

○斉藤 佐知子委員 まずは函館市の保育料の分類で、保育料がどうなってるかっていうのがあれば。それと国とかの比較というか、そういうのがあると検討しやすいかなと。かなり前に、でももうそれはかなり前なので、済みません、今の直近のと言いますか、一番新しい資料をいただいて、改めて検討したいと思っています。

○委員長（池亀 睦子） まず、一通り伺います。それでよろしいですか。

○斉藤 佐知子委員 はい。

○委員長（池亀 睦子） じゃあ、公明党さん。

○松宮 健治委員 そろそろ結論を出してもいいのかなと思っておりますし、ただ、各会派の皆さんの御意見の中で、もうちょっとということでは、それはそれでやぶさかではないと思っておりますが、ただ、私

の淡い記憶であれば、以前にも同様の趣旨の請願というか陳情が何度か出されてきてて、結構、民生常任委員会では丁寧に審議してきたのではないかと。その文脈の中で考えると、ある程度の方向性が出ると思いますので、早めに決めてもどうかと思っております。

○委員長（池亀 睦子） 早めに採決をと。

○松宮 健治委員 はい。

○委員長（池亀 睦子） わかりました。

日本共産党さん、お願いします。

○市戸 ゆたか委員 私たちの会派から2人、紹介議員になったということもありまして、1番の保護者の家計を圧迫する保育料の引き下げをしていただきたいということで、先ほど斉藤委員のほうからも、保育料の資料がほしいということで、私もいろいろ調べたんですけども、所得税が幾らの人に対して保育料が幾らという表ばかりなんですよ、どこも。全国、全道全て。それで、私たちが一番知りたいのは、函館市民の、子育てしているお母さんお父さんたちの所得に対して保育料が幾らなのかということを見ないと判断できないんですよ。それで、私としてはきょう結論を出さないで、そういう例えばモデルケースで、30歳代でも40歳代でもいいんですけど——30歳代ですね、子育てだからね。国保は40歳代だけ。そのくらいで子供さん1人2人いて、モデルケースの中で保育料が幾らかという一覧表があれば、とても比較しやすく、なぜ保育料を引き下げてほしいのかという根拠が見えてくるんじゃないかなというふうに思いますので、その資料をぜひ、私、部局のほうにつくっていただければというふうに思いますので、あと結論は私たちもう出ておりますけれども、そういう議論の経過の中で、そういう資料をもとに私たち議員としても実感していきたいなというふうに思います。資料の要求は、私もその保育料のところをお願いしたいというふうに思います。

○委員長（池亀 睦子） まず、全体を伺います。

市民クラブさん。

○工藤 篤委員 この間、予算特別委員会民生分科会でも私、若干質問をさせてもらったんですけども、大枠の部分なんですよね。つまり、前段で、前もこの民生で議論してきた経過もあるとおっしゃってますけれども、今の保育料の関係については国の政策も少し変わっていて、360万円でしたっけ——の所得以下の場合は、2人目は半額とか無料とか、制度が変わってきてるんですよ。だから、それが函館市では対応してるとは言いながら、その辺こまい部分ですが、もうちょっと聞きたいなっていう気が、調べておいた方がいいのかなという気がします。特に今国会で「日本死ね」——ブログが話題になってやってますので、そういった意味からすると返していく場合も丁寧に調べて、その請願に対して対応しなきゃならないのかなというふうにして思いますから、もう少し時間をかけてもいいんじゃないかなと。我々自身が調べて、事務局のお力を借りながら調べて対応していく、そういう時間が欲しいような気がします。

○委員長（池亀 睦子） 工藤委員は今、保育料の、市戸委員と同じような考えの資料でよろしいですか。

○工藤 篤委員 そうですね。具体性があればなおさらいいのかなという気がしますけどね。

○委員長（池亀 睦子） 現状がどのような設定になっているのかというところですね。

○工藤 篤委員 他の先進自治体と申し上げたらいいのかわかりませんが、そういうこともやっぱ

り調べて……。

○委員長（池亀 睦子） わかりました。では、一通り今お伺いいたしまして、市政クラブさんはきょうにでもっていう、また公明党さんも早い時期に採決をっていうような御意見もありました。ただ市政クラブさんも皆さんのお考えに合わせていくという、公明党さんもそのような、皆さんに合わせるということでした。で、3会派から、保育料の現在の函館市の状況ですね、所得に合わせた設定。実際にどのくらい保育料を払っているのかとか、その辺を知りたいということでしたが、全会派の皆様どうでしょうか。3会派からそのような意見が出ましたけども、可能であればしっかり資料を部局に確認いたしまして、いただくということよろしいでしょうか。

○能登谷 公委員 資料のって、きょう、いいんだけど、ちょっと疑問なのは、市戸委員から出た具体の部分って言ったって30歳代でも平均がとれるのかどうかさ。例えばすごい所得のある人だっているし、あるいは所得の少ない人だっているだろうし。だから、その部分をどう——例えば30代でも年間1,000万円以上所得のある人だっているだろうし、そうかと思えば250万円以下の人もいるだろうし。そういう部分っていうのは具体っていうのは、例えば年代的にどうのこうのじゃなくて、僕はどうしても所得の部分になってしまうのではないかなと思うんだけど、その詳しいっていうのはどういうふうなあれなのかちょっと。

○市戸 ゆたか委員 私たち国保料を調べたときに、例えば40歳代、2人の子供さんがいる家庭で所得が幾らの人が幾らの国保料——例えば高い人もいますよね、その人がじゃあ幾らの国保料。ということだから、保育料も例えば30歳代で2人子どもさんがいるおうちで所得ばらばらだと思うんですけど、その所得の人が幾ら払ってて、高額の人もあると思うんですけど、お医者さんとかは高額だと思うんですけど、そういう人たちは保育料幾らなのかとかっていうのが出てくると思うんですよ。今聞いても一人一人所得が違うからわかりませんっていうふうになっちゃうんですよ。

○委員長（池亀 睦子） そうですね。市の分類と……。

（「階層別にすればいい」の声あり）

○委員長（池亀 睦子） はい。市の分類と国の比較、それから所得に対して保育料が幾らか——このモデルケースですね、比較しやすい。そしてプラス年代的なものをもし出せば知りたいと。それを部局の方に申し上げて、可能な限りの資料を用意していただくということでどうなんでしょうか。既存資料があれば写しを提出していただくということで。よろしいですか。

（「いいんじゃないですか」の声あり）

○委員長（池亀 睦子） はい、わかりました。ではそのように確認いたしました。資料を提出していただくわけですので、もう少し時間をとって各会派調査・研究をし、次回にまた、態度を考えていくということを確認しましたが、それでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○工藤 篤委員 これ請願の1だけですか。全体を通してってことなんですか。

○委員長（池亀 睦子） はい。全体を通して今……。

○工藤 篤委員 それではちょっといいですか。保育士不足の解消の問題について、函館は待機児童もないし、公立、民間別にして保育所体制は対応してるんだっていうふうにして理解をしておりますが、

国会の議論を聞いていますと、保育士が全国で7万人ぐらい足りないと言われてますが、その大きな理由は賃金、労働条件なんですね。主に、全産業の平均の給料から見ると10万円ちょっとぐらい保育士は給料が低いと。もちろん年齢構成とかいろいろありますから、それはあくまでも平均の問題なんですけれども。そこで保育士のそういう問題からした場合に民間委託をどんどん進めていますけれども、そういう状況っていうのもやっぱり把握しておく必要があるんじゃないかと思いますので、ぜひその辺も、事務局のほうに対応してもらってことを民生としてぜひ要望っていうか要請するっていうことしてもらえればなという気がしますけれども。

○委員長（池亀 睦子） 2番の保育士の部分でしょうか。

○工藤 篤委員 そうです。はい。

○委員長（池亀 睦子） 具体的に部局に求めるものは何ですかね。

○工藤 篤委員 ですから、私、一般質問でも前にやってるし、この間の予算特別委員会民生分科会でもやりましたけれども、指導監査課がそれぞれの保育所の運営、財政のことも含めて指導なり監査なり入ってるらしいんです。その中で賃金っていうか給与の状況ってものを調べられないのかどうかと。そのことによってある一定のものが出てくるんじゃないかと思うんですけれども。

○委員長（池亀 睦子） これは資料提供はなかなか難しいと思うんですね。これ部局に来ていただいて説明を受けたいということですか。

○工藤 篤委員 いや、資料が欲しいんです。

○市戸 ゆたか委員 以前、公立保育園を民営化するときに、そのときの民生常任委員会で、それぞれの保育園の名前はなしにして、大体賃金を一覧表にしたっていうのが、12年くらい前にそういう資料をいただいたことがあるので、難しいとは思いますができないことはないというふうに私も思うので、私も今回の個人質問でやりますけど、相当劣悪ですね、保育士の賃金は。そういった意味で明らかにできたら具体的に理解できるんじゃないかなと。

○委員長（池亀 睦子） わかりました。じゃあ、既存で資料があるのかどうかを確認をさせていただいて、準備できるかどうかっていうことでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（池亀 睦子） 全会派もそれをいただきたいということでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（池亀 睦子） はい、わかりました。では、前回理事者をお呼びしてっていう発言もあったんですが、それについてはよろしいですか。今回の資料の提供で。よろしいですね。

（「はい」の声あり）

○委員長（池亀 睦子） 確認をさせていただきます。

では、確認をいたしますが、各委員においては採決を念頭にさらに検討を深め、次回以降、協議を進めてまいりたいと思いますが、それでよろしいですね。

（「はい」の声あり）

○委員長（池亀 睦子） それでは、そのように確認をいたしました。

それでは、請願第1号函館の保育、子育て支援の拡充を求める請願については、継続審査とすること

に御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(池亀 睦子) 異議がありませんので、そのように決定いたしました。

お諮りいたします。継続審査とすることに決定した事件について、本日伺った意見を踏まえた理由をもって、閉会中もなお継続審査する旨を議長に申し出たいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(池亀 睦子) 異議がありませんので、そのように決定いたしました。

以上をもちまして、本件を終了いたします。

2 その他

○委員長(池亀 睦子)

- ・ 次に2のその他だが、各委員から何か御発言あるか。(「なし」の声あり)
- ・ 散会宣告

午前10時19分散会